



2020年流山憲法集会 5月17日(日) 中止

コロナウィルスの感染拡大の状況の中
ですので集会は残念ながら中止とします

5月17日に予定していた憲法集会（中野晃一先生の講演会）を中止します。大変残念ですが、ご存知のコロナウィルス感染拡大の情報が氾濫し、政府や都道府県知事、流山市などから外出や集会自粛が「要請」されている中であえて条件を整えて開催することの困難さや、参加される皆さんの健康や懸念などを勘案し、中止することに決定しました。

今後については未定です。ただしせっかく中野先生にお話いただく計画をしたにも拘わらず実施できないままというのも残念ですので、取りあえず当日会場での販売を考えていた、ご推薦の本を紹介します。

「右傾化する日本政治」（岩波新書）

「私物化される国家」（角川新書）

「野党が政権に就くとき」（人文書院）



※国会前の集会も4月中は中止になりました。

オリンピックも延期になり、「すべて先送り」の感が広がりそうですが、安倍自民党総裁の任期は来年9月までです。安倍政権のことですから、この空気の中で「国民心を一つにして国を守れ」などと任期切れの前に改憲に突き進む危険性もなくはありません。

改憲発議を狙って18, 19年の通常、臨時4回の国会で果たすことが出来ず安倍さんは焦っています。しかもその国会をここまで混乱させてきた原因がモリカケ、「桜を見る会」など身から出た錆だったのです。そして消費税アップの不況とさらにコロナの追い打ち。求心力を失いつつあります。改憲断念、国会発議断念まで頑張りましょう。

集会もできず駅頭宣伝も自粛となると活動の制約があります。しかし家を出なくても集会をしなくても国民の意思を表すことは可能です。自民、公明の与党議員に手紙やファックスをどんどん届けましょう。逆に野党議員に励ましを。またネットで署名をしたり、署名を集めたり、メールを送ったりもできます。みなさんそれぞれ出来るところで頑張りましょう。

コロナウィルス

◆志村けんさんが亡くなった。素晴らしいコメディアンが失われたことが残念。その亡くなり方が、隔離されたまま家族に会えないまま……というのは人道に反する対応ではないか。自分だったらと思うゾッとする。

◆イタリアやスペインの感染拡大は衝撃的。原因の詳細は不明だが、病院統廃合など医療費削減のための政策が医療崩壊を招いたと言われている。日本も軍事費をついに5.22兆円まで膨らませながら、医療費を削減し病院の統廃合を進めようとしているなかで他人ごとではない。コロナと戦うのか、外国の人と戦うのか、

◆アメリカで感染が広がっている。国民皆保険ではない中で急速に広がる恐れがあるという。病気になっても貧しい人は医者に行けないのだ。大統領選挙の主要な争点になっている。従って患者の数も把握できない？ 軍の中にも感染者が出始めた。数千人が搭乗する原子力空母の中にも沖縄の在日米軍の中にも。検疫もなく出入りしているのだから危険。密集集団、密閉環境など米軍内のことはもう一つの密、秘密か？

◆中国ではピークを過ぎたとの報道もあるがどこまで本当かと疑問視する向きもある。貿易やITで対立していた米中がコロナで非難合戦を行っている。

◆ドイツではメルケル首相が国民に冷静な行動を呼びかけて異例のテレビ演説をした。国民への思いやり、理性と民主主義への信頼、医療や必要な日用品の生産に携わる人々への感謝などをのべ、十分な生産能力はあり、買い占めに走るのはおろかなどと切々と訴えて感動的だ。ネットのwebで検索すれば日本語訳も見られる。

毎日の報道で不安ではありますが、インフルエンザでも関連死を含めると毎年1万人がなくなっているそうです。冬場は毎日数十人です(厚労省のホームページをご覧ください)。薬があり、予防注射をしていてもこれだけ死者が出ているのですが、パニックにはなっていません。しかしコロナウィルスはどのような特徴を持っているのか、予防だけでなく万一感染したらどう注意すればいいのか。治療薬やワクチンの開発はどうなっているのか、志村けんさんなどがあまりに急激に悪化して亡くなったのはなぜか、など情報がたりません。ウィルスそのものも怖いですがそれ以上に怖いのは人びとが訳がわからずパニックになることです。未知なるものは怖い。一日も早く治療法開発を！。

自分も他人も感染しないよう努めながら、冷静に対応しましょう。

